

研究ノート

小学校『英語ノート』の語彙分析

Abstract

In anticipation of compulsory foreign language education beginning in 2011, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology has produced a textbook called *Eigo Noto* [*English Notebook*] for the new fifth and sixth grade curricula. In this study, the *Eigo Noto* vocabulary was examined with regard to vocabulary size, level, and efficacy; the amount of overlap with the junior and senior high school (JSH) textbook vocabulary currently used nationwide; and the semantic categories to which the *Eigo Noto* vocabulary belongs. It was found that: 1) over half of the 386 words used in *Eigo Noto* appear in JSH textbooks; 2) a significant number of words fall into semantic categories, such as 'life and living things,' 'food,' and 'entertainment'; 3) many words ranked at the 8th grade or higher are included; and, 4) when supplemented to JSH textbook vocabulary, the vocabulary of *Eigo Noto* enhances the vocabulary coverage in certain language activities such as survival English. Overall, the *Eigo Noto* vocabulary could function both as a basis for elementary education as well as an important supplement to secondary education.

1. はじめに

新しい学習指導要領(平成 20 年 3 月告示)によって,平成 23 年度から小学校で「外国語活動」が必修化される。それにあわせて文部科学省は,平成 20 年 4 月に『英語ノート 試作版』(以下,『英語ノート』)を発表した。『英語ノート』の発行は,国として共通の標準的な指導内容を示す必要性に迫られ,また新学習指導要領に則した具体的な教材のモデルを示す必要があったためと言われる(大城・直山, 2008)。

現行の学習指導要領(平成 10 年 12 月告示)のもとでは,小学校外国語活動は個

別の学校や個別の地域の裁量に任せられ、全国で独自の実践が行われてきた。そのため、小学校外国語活動の全体像をとらえることは難しかった。しかし、共通教材である『英語ノート』が示されたことで、国によってはじめて小学校外国語活動の理念が具現化され、実態が捉えられるようになったと考える。

菅他(2009:8)によると小学校外国語活動が目指すのは、「単に『話すこと、聞くこと』のスキル面を向上させるものではない」。語彙については「『定着』をねらったものではない」と言われており、「『英語ノート』の語彙やシラバスは、中学校との連携はない」(金森, 2009:60)とされる。しかしながら、効率的な英語教育を実現させるには、小中高の連携は必須であり(吉田, 2008; 兼重・直山, 2008), そうした展望に基づく研究プロジェクトも実際に行われている(小池, 2008)。

本研究では、英語教育における小中連携を実現させるための基礎的データを提供するため、語彙に焦点を絞って『英語ノート』の分析を試みた。本研究の目的は、『英語ノート』によって小学校でどのような質と量の語彙を扱うことが想定されているのか、また、そうした語彙の実用性はどの程度なのかを具体的に把握することである。調査した項目は次の4つであった。

- (1) 語彙数：異なる語が何語扱われているか、中学校・高等学校教科書語彙とどの程度重なるか
- (2) 語彙の意味領域：どのような意味領域に属する語で構成されているか
- (3) 語彙レベル：母語話者の言語習得に照らしてどの程度の語彙レベルになるか
- (4) 実用英語の語彙との比較：『英語ノート』の導入によって学校英語教科書語彙の実用性はどの程度向上するか

2. 言語資料

2.1 『英語ノート』語彙リスト

『英語ノート 試作版』(2008年)は5年生用と6年生用の2冊から成る¹。小学校の外国語活動の授業は音声活動が中心である。そのため中学校や高等学校の英語教科書とは異なり、テキストにはイラストや写真が多く、英語の文字や文はほとんどない。したがって、テキスト自体から、外国語活動で扱われる語彙を把握することは難しい。そこで、『英語ノート』の指導書である『英語ノート 指導資料 第5

学年 試作版』と『英語ノート 指導資料 第 6 学年 試作版』(文部科学省, 2008) に, 指導例, 活動例として示されている「扱う表現」, 「CD スクリプト」, 「児童の活動」の項目に現れた英文を児童が『英語ノート』を通して触れる語彙と想定して収集し, 語彙リストを作成した²。実際の授業では, 指導書の語彙や表現を参考にしながら, 教師が目の中の生徒の実態に合わせて語彙や表現を追加したり, 減らしたりして指導するであろう。そのような実情があるものの, 共通教材である『英語ノート』の指導書に出現する語彙を調査することで, 小学校外国語活動の全体像を語彙の観点からとらえられると考えた。

2.2 比較資料

『英語ノート』の語彙の特徴を把握するため, 次の言語資料を比較対象に用いた。

- 1) 中学校・高等学校英語教科書語彙リスト: 現在使用されている中高教科書を収集し語彙リストを作成した。これらは, 『英語ノート』の語彙と現行の中高教科書語彙の重なりを調査し, 『英語ノート』の語彙に中高教科書語彙を加えた小中高の語彙の実用性がどの程度向上するかを調査するためである。中学校教科書は平成 18 年度版の英語検定教科書 7 種のうち採択率の高い *New Horizon 1, 2, 3* シリーズを, 高校教科書は平成 18 年度版の採択率上位の教科書より *Unicorn English Course I, II, Reading* を選んだ。*New Horizon 1, 2, 3* は異語数 826 語, 延べ語数 7,998 語, *Unicorn English Course I, II, Reading* は異語数 3,161 語, 延べ語数 32,776 語であった。これらの中高教科書を連続して使用すると, 異語数は 3,286 語, 延べ語数は 40,774 語となる³。
- 2) 音声言語・文字言語各 7 種の言語資料⁴: 学校英語教科書語彙の実用性を調査するため, 学習者が現代社会で必要とするであろうと想定される言語活動として, 音声・文字各 7 種の言語活動から得た言語資料のサンプルを使用した。これらのサンプルは中條他(2008)で使用されたものと同様である。

2.3 参照資料

『英語ノート』の語彙の内容やレベルについて複数の視点からその特徴を客観的に明らかにするため, 以下に示す 3 種類の参照資料を使用した。

- 1) 意味領域の分類資料: 『英語ノート』の語彙がどのような意味領域に属する語に

よって構成されているかを調査するため, 15,000 語の基本語を 14 の意味領域に分類している McArthur (1981) を参照した。

- 2) 子供話し言葉の語彙リスト: 英語母語話者の小学校低学年の子供話し言葉の語彙リストとして, Stemach and Williams (1988) が作成した 2,500 語を参照した。
- 3) 英語母語話者の語彙習得学年資料: 学年レベルを見るため, 米国の 4~16 年生の半数以上の生徒が基本的な語彙の意味を理解する学年を 40,400 項目にわたって調査した Dale and O'Rourke (1981) を参照した⁵。4 年生以下の 1 年から 4 年の学年レベルを見る資料には Harris and Jacobson (1972) を参照した。

3. 調査結果と考察

3.1 語彙数

『英語ノート』を通して触れられる児童用英文の語彙の異語数は小学 5 年では 188 語, 小学 6 年では 290 語であり, 5・6 年を合わせると 386 語であった⁶。386 語のうち中学校教科書語彙(826 語)と重なる語彙は 227 語, 高校教科書語彙(3,161 語)と重なる語彙は 270 語であった。中高教科書語彙(3,286 語)に『英語ノート』を使用することによって追加される語彙は 98 語(異語数)であった。

中高の教科書には出現せず, 『英語ノート』のみで扱われる 98 語には主なものとして, 「職業」関連の語が 21 語(例 actor, actress, astronaut, carpenter, cartoonist, comedian), 「食物」が 21 語(例 banana, bread, cabbage, croissant, donut, omelet), 「生物」が 14 語(例 butterfly, camel, elephant, giraffe, gorilla, hippo) 等があった。教育現場では学習者の身近な語彙の不足がしばしば話題になる(毛利, 2004)ことを考えると, 中高教科書語彙にこうした生活関連の語彙が補完されることは, 語彙指導の有効性の向上に貢献するであろう。

3.2 語彙の意味領域

『英語ノート』の語彙がどのような意味領域に属する語で構成されているかを観察するため, *Longman Lexicon of Contemporary English* (McArthur, 1981) の分類基準を利用して, 『英語ノート』の各語を「生物」, 「身体」, 「人間」, 「思考」といった 14 の意味領域に分類した。比較のために, 中学校教科書語彙についても同様に

意味領域の構成比を調査した。図 1 は『英語ノート』と中学校教科書語彙の意味領域の構成比(%)をレーダーチャートに示したものである⁷。レーダーチャートでは、比較対象の語彙が質的に同じ傾向であれば、描かれる折れ線は類似した形状になり、傾向が異なれば折れ線の距離は離れる。また折れ線が円心に近いほどその意味領域の構成比率は低いことになる。

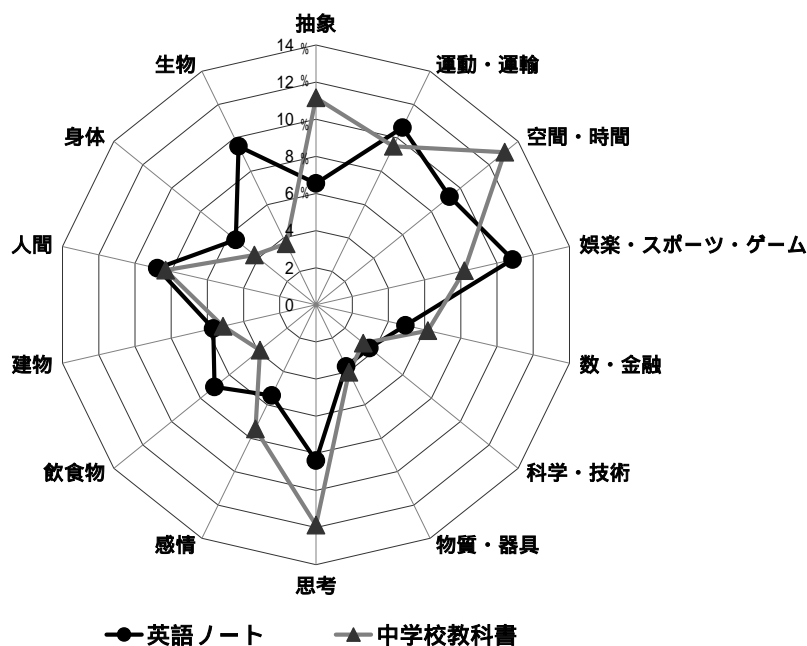


図 1 『英語ノート』と中学校教科書語彙の意味領域の構成比

図 1 は『英語ノート』の語彙()を、中学校教科書 *New Horizon* の語彙()と比較したものである。『英語ノート』の語彙の意味領域は中学校教科書語彙とは異なる比率で構成されていることがわかる。大きく差が見られる領域として、『英語ノート』には「生物」(例 butterfly, elephant, fish, flower), 「娯楽・スポーツ・ゲーム」(例 baseball, dance, play, swim), 「飲食物」(例 juice, lunch, milk, salad, sausage) が含まれ、児童の生活や活動に結びついた領域に属する語の割合が高い。一方、中学校教科書では、「抽象」(例 culture, future, purpose, problem, true), 「空間・時間」(例 area, city, country, early, last, place, suddenly, usually), 「思考」(例 agree, decide, mean, opinion, remember, view) に属する語彙が多い。これらの結果は、『英語ノート』では「小学校段階では高度すぎる表現、抽象的な概念の語彙等は避けるようにした」(菅, 2008: 11) というテキスト編纂者の記述と合致する⁸。

3.3 語彙レベル

『英語ノート』で扱われる語彙の語彙レベルを検討する方法として、まず、Stemach and Williams (1988) が作成した 2,500 語の語彙リストを参照した。実際には T. Cobb の VP-Kids プログラムを利用して頻度順に 250 語ずつ Kid250-1 から Kid250-10 の 10 段階の頻度帯に『英語ノート』の 386 語を分類し、各頻度帯に属する語数と割合を表 1 に示した。Kid250-1 に 25%、Kid250-2 に 16%、Kid250-3 に 11% のように頻度レベルの高い頻度帯により多くの語が含まれていることがわかった。また、386 語のうち 83% にあたる 322 語は Stemach and Williams(1988) の“The first 2,500 words of spoken English” に含まれていた。一方、そこに含まれない Off-List の語は 64 語 (17%) であり、母語話者の低学年児童の語彙リストに属さない語が比較的多い。それらは例えば barbershop、bibimbap、bookstore、cabbage、chant、ch’ima、chogori、chongi、comedian、cook、craft、croissant、department、economic、excellent、fantastic、fashion、florist、grace、gratin、hint、history 等であった。

表 1 VP-Kids を利用した『英語ノート』の語彙の頻度レベル

	Kid250 頻度レベル										Off-List	計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
語数 (語)	96	60	41	31	22	21	21	12	13	5	64 語	386 語
割合 (%)	25	16	11	8	6	5	5	3	3	1	17%	100%

続いて、『英語ノート』の語彙レベルの相対的な位置づけを把握し、さらに中学校教科書語彙とも比較できるように、米国の母語話者の語彙習得学年資料を用いて「学年レベル」を調査した。各教科書に出現したすべての異語について、学年レベル (米国の 1, 2, 3, 4, 6, 8, 10, 12, 16 年生) を割り当てた後、総異語数で除して平均学年を算定した⁹⁾。『英語ノート』は 3.4 年レベル、中学校 *New Horizon* は 2.6 年レベルであり、『英語ノート』の語彙の平均学年レベルが中学校教科書より高く算出され、中学校と小学校で学年レベルの逆転現象が見られた。表 2 に、各学年に該当する語数と割合を 1-6 年生レベル、8 年生レベル以上、さらに Off-List に区分して示した。1-6 年レベルの語の割合は『英語ノート』は 92.0%、*New Horizon* は 95.3% であり、『英語ノート』の方が中学校より 1-6 年レベルの語の割合が低い。また、米国学年資料で中学生レベル以上に相当する 8 年生以上の語の割合は『英語

ノート』の方が高い。表 3 に 8 年生より高学年に評価された『英語ノート』の語彙 13 語の学年レベルの内訳を示した¹⁰。最下欄は Off-List の語である。

表 2 『英語ノート』と中学校英語教科書語彙の米国学年レベル比較

	1-6 年レベル	8 年レベル以上	Off-List	計
英語ノート	355 語(92.0%)	13 語(3.4%)	18 語(4.7%)	386 語(100%)
<i>New Horizon</i>	787 語(95.3%)	20 語(2.4%)	19 語(2.3%)	826 語(100%)

表 3 8 年生以上に評価された『英語ノート』の語彙の例

学年レベル	該当する語の例
8 年	department, economic, omelet
10 年	attendant, chant, koala, programmer, soccer, yogurt
12 年	gratin, sukiyaki, sumo
16 年	croissant
Off-List	bibimbap, ch'ima, chogori, chongi, kendama, kimchi, miso, namul, natto, sunshin, sushi, unicycle, zookeeper, ...

表 3 を見ると, omelet (オムレツ), yogurt (ヨーグルト), gratin (グラタン), croissant (クロワッサン) 等の食べ物関連の「カタカナ語」は, 米国の語彙習得学年資料では 8 年生以上の「高学年」の語と評価されている。Off-List の欄には, miso, natto 等の日本の食品, bibimbap, kimchi, namul 等の国際色豊かな食品, kendama, unicycle 等の子供の生活に密着した遊具, zookeeper 等の将来の職業等の語彙があがっており, 『英語ノート』では外国語活動の趣旨を反映して, 日本の子供の生活に身近な語彙が扱われている。以上のように, 『英語ノート』の語彙には, 中学校教科書語彙と比較して学年レベルの高い語が多いこと, 英語母語話者の言語習得データとは異なる語が一部扱われていることが判明した。小学校外国語活動は中高とは異なる独自の目標を掲げており, 日本の子供の生活, 発達段階に特別な配慮をしているため, 英語圏の子供のデータを参照資料として用いて評価すること自体が難しいとも考えられる。実際に『英語ノート』の語彙の選定方法は, 「文部科学省の委嘱による 10 数年に及ぶ研究開発学校のデータ等を参考にし, また, 全国の小学校で実践されている英語活動等をも考慮しながら選択されている。」(菅他, 2009: 11) という語彙選定に関する記述や, 「『英語ノート』の語彙やシラバスは, 中学校との連携はない(金森, 2009: 60)」という指摘が裏付けられたものとも言える。

「今回の学習指導要領は、『聞くこと』『話すこと』等の英語運用能力（スキル）向上を図るものではない」（兼重・直山，2008：8）という小学校外国語活動の趣旨に照らして考えると，児童に目を向けた教師の視点を軸にした語彙選定の手法は，児童の特性を反映した語彙を選ぶことが可能であるという利点がある。一方，こうした選定手法は「扱う語彙を総体として統制することは行いにくく，頻度の裏付けがないため，語彙選定の理念も曖昧となりがちである。」（石川，2008：185）という問題を残す。将来，効果の高い英語教育の連携を考える際には，語彙選定の方法や基準の設定には慎重な議論を要するであろう。

3.4 実用英語の語彙との比較

小学校外国語活動は「コミュニケーション能力の素地を養う」ことが目標に掲げられている。したがって『英語ノート』が導入され，中高教科書語彙に『英語ノート』語彙が追加されれば，実際の言語活動の語彙に対して，実用性がどの程度向上するかを検証することは意義深い。通常，個々の学習者は中高で各 1 種類の教科書シリーズを用いることから，本研究では，採択率の高い（多くの学習者が出会う可能性の高い）中学教科書（*New Horizon 1, 2, 3*）の語彙と高校教科書（*Unicorn I, II, Reading*）の語彙に『英語ノート』の語彙を加えて，仮にそれらの語彙を習得すれば，現代社会で必要と考えられる言語活動の語彙の何%が既習になるかという「カバー率」¹¹を求め，表 4 に示した。

表 4 の最左欄には本稿で調査した音声言語活動と文字言語活動を各 7 種ずつ示し，次の欄に各言語活動のサンプルで用いられた語彙に対する中高教科書語彙のカバー率，続いて中高に『英語ノート』の語彙を加えた場合のカバー率，最右欄には左の 2 列の数値の差を求めて，『英語ノート』を追加した場合のカバー率の上昇量を示した。具体的には，表の横の列の「クラス対話」という音声言語活動に現れた語彙の 93.3% は中高教科書の語彙でカバーされ，93.5% は中高教科書に『英語ノート』が加わった語彙でカバーされることを示している。この場合，『英語ノート』が追加されたことで「カバー率の上昇量」は「+0.2 ポイント」である。

「カバー率の上昇量」について，各種の言語活動で 0.1 ポイントから 1.0 ポイントの上昇が見られた。とりわけ，表 4 に網掛けで示したように，サバイバル会話は 96.4% から 97.4% へ 1.0 ポイントと最も大きく上昇し，映画は 0.6 ポイントの向上が

見られた。サバイバル会話のカバー率 96.4%は、言い換えると「28 語に 1 語未知語に遭遇する割合」であり、それが 97.4%に上昇すると「39 語に 1 語未知語に遭遇する割合」にまで向上する。

表 4 『英語ノート』の語彙を追加した中高教科書語彙のカバー率の変化

		中学 <i>New Horizon</i> + 高校 <i>Unicorn</i>	小学校 『英語ノート』 + 中学 <i>New Horizon</i> + 高校 <i>Unicorn</i>	カバー率の上昇量
音声言語活動	クラス対話	93.3%	93.5%	+0.2
	サバイバル会話	96.4%	97.4%	+1.0
	映画	92.7%	93.3%	+0.6
	PBS News	89.0%	89.1%	+0.1
	VOA	91.8%	91.9%	+0.1
	TOEIC Listening	92.5%	92.8%	+0.3
	TOEFL Listening	93.5%	93.8%	+0.3
文字言語活動	ハリーポッター	92.4%	92.6%	+0.2
	生活案内	82.5%	82.8%	+0.3
	News for You	89.9%	90.1%	+0.2
	大学案内	85.2%	85.4%	+0.2
	TIME	82.4%	82.6%	+0.2
	TOEIC Reading	83.7%	83.8%	+0.1
	TOEFL Reading	85.5%	85.7%	+0.2

以上のことから『英語ノート』の語彙は、「コミュニケーション能力の素地を養う」という外国語活動の目標達成に寄与することが具体的な数字で確認されたと言える¹²。本稿で調査した中高教科書は『英語ノート』の公表以前に執筆されたものである。今後、新しい中高教科書が編纂される際には『英語ノート』の語彙を考慮することによって、さらにカバー率の向上が見られることを期待したい。

4. まとめ

本研究は文部科学省より公刊された『英語ノート 試作版』を通して小学校外国語活動で扱われると推定される語彙を客観的にとらえようと試みた。その結果、『英語ノート』を通して児童は 386 語の語彙に触れること、中高の教科書語彙に 98 語の追加となることが確認された。また『英語ノート』の語彙の特徴として、「生物」、「飲食物」、「娯楽・スポーツ・ゲーム」に関する意味領域の語彙が多く、生活語彙の補充に有効であること等が判明した。そして、カバー率の上昇量に示されたように、現行の中高教科書語彙に『英語ノート』の語彙が加わると、サバイバル会話に

対するカバー率が 1.0 ポイント向上することが検証され、外国語活動のコミュニケーション力の素地の育成への寄与がデータで確認された。

このように『英語ノート』の導入は日本の英語教育の向上の一助となることが期待される。一方で、英語母語話者の言語習得の観点から見ると、語彙レベルにおいて中学校と小学校で学年レベルの逆転現象が見られること、『英語ノート』の出現語彙には母語話者の言語習得からは逸脱した語が一部見られた。こうした現象は、学習指導要領に掲げられた外国語活動の目的や独自性を考えると予想されたことと言える。しかしながら将来、一貫性のある小中高の語彙指導を考える際には、確固たる理念のもと、明確な基準に基づく語彙選定の構想が図られるべきであろうという現状も確認された。現在、新しい学習指導要領に基づく中高英語教科書の編纂が進む中、本稿では、小中高の語彙指導の連携を視野に入れ、『英語ノート』の語彙を分析した。本稿の語彙調査の成果は、英語教科書作成の際の参考資料を提供するものとする。

注

1. 2009 年に全国で配布されたものは『英語ノート 1』、『英語ノート 2』となっていて、学年の指定はない。
2. 本稿で作成、使用した語彙リストは齊藤他 (1998:110-113) の分類を参照すると単語の基底形に基づく語彙リストである。固有名詞、数詞等は除外した。
3. 本稿で分析対象とした教科書の入力箇所は、*Unicorn* と *New Horizon* シリーズの各レッスンの本文であった。*New Horizon* については、*Speaking Plus*、*Let's Read* 等も本文に含めた。
4. 下に出典を示した資料から言語活動ごとに 1,500 語×5 個のサンプルを抽出した。

クラス対話	1st-year undergraduate tutorial: linguistics (BNC G4W), Economics tutorial (BNC HYL)
サバイバル会話	eigozai ENGLISH USA (http://www.eigozai.com/USA/USA.htm)
映画	Titanic (http://www.pumpkinsoft.de/screenplay451/)
PBS News	Inspecting Iraq 他 5 編 (2002, http://www.pbs.org/newshour/newshour_index.html)
VOA	FAO Water Report 他 19 編 (http://www.eigozai.com/USA/USA.htm)
TOEIC Listening, Reading	TOEIC 公式ガイド & 問題集 Vol. 1 (2000), 2 (2002)
TOEFL Listening, Reading	TOEFL Practice Tests Vol. 2 (1999), Practice Tests A, B
ハリーポッター	<i>Harry Potter and the Philosopher's Stone</i> , 1 ~ 5 章 J. K. Rowling (1997)
生活案内	Official web site of the City of White Plains (http://www.cityofwhiteplains.com/)
<i>News for You</i>	Enron Under Investigation 等 5 週分 (2002)
大学案内	International Programs and Services (http://www.columbia.edu/cu/isso/)
<i>TIME</i>	A Bad Menu for Peace 他 16 編 (2002, http://www.time.com/time)

TOEIC と TOEFL については試験問題という性質上, テスト 2 回分を対象とした。言語資料の選定基準は中條他(2008)を参照し, 現代社会の特徴分析から判明した学習者のニーズを反映し, 学習者が目標とするであろう言語活動から言語資料を選定した。

5. *The Living Word Vocabulary* (Dale and O'Rourke, 1981) は grades 4, 6, 8, 10, 12, 16 の米国の被験者の 67% 以上, つまり 3 肢選択方式のテストでの実値半数以上の生徒が当該単語の意味を理解できる学年を調査した資料である。
6. 『英語ノート』には, 中学校教科書の「本文」のような英文はほとんどないため, 本稿では, 出現した語の種類数である「異語数」に焦点を当てることとした。
7. 高校教科書語彙および中高教科書語彙についても同様のレーダーチャートを作成したところ, 中学校とほぼ相似の形状であったため, 中学校のみを示した。
8. 市販の小学校英語テキスト語彙の意味領域の分布状況を調査した西垣・中條・西岡(2007)の分析結果とも一致する。
9. 参照資料に未収録の語は平均学年の算定に含めなかった。
10. 参照資料で利用できる学年レベルは 8 年, 10 年, 12 年, 16 年生レベルであったため, 表 3 の学年レベルの区分は 8 年, 10 年, 12 年, 16 年となっている。
11. カバー率はある語彙の集合(語彙表)が, テキスト全体の延べ語数の何パーセントを占めるかという指標であり, 「カバー率(%) = (ある語彙表でカバーする目標言語資料の延べ語数) ÷ (目標言語資料の延べ語数) × 100」で求められる。
12. 語彙研究の分野では英文の内容を無理なく理解するには「98%カバー率」が「望ましい」と考えられている。現行の中高教科書語彙に『英語ノート』の語彙が加わると「サバイバル英会話」のカバー率が 96.4% から 97.4% へと上昇したことは, 望ましいとされる「98%」に近づいたことを示すもので, 『英語ノート』の語彙の実用性向上への寄与がデータによって確認されたものとする。

参考文献

中條清美・西垣知佳子・長谷川修治・内山将夫(2008)「『ゆとり教育』時代の高校教科書語彙を考える - 1980 年代と 2000 年代の高校英語教科書語彙の比較分析からの考察 - 」『英語コーパス研究』第 15 号: 57-79.

Cobb, T. (2009) VP-Kids [Online]. URL: <http://www.lex tutor.ca/vp/kids/>

- Dale, E. and J. O'Rourke (1981) *The Living Word Vocabulary*. Chicago: World Book-Childcraft International, Inc.
- Harris, A. J. and M. D. Jacobson (1972) *Basic Elementary Reading Vocabularies*. New York: The Macmillan Company.
- 石川慎一郎 (2008) 『英語コーパスと言語教育』大修館書店.
- 金森強 (2009) 「『英語ノート』をどう活用するか」『英語教育』第 58 巻第 1 号: 60.
- 兼重昇・直山木綿子 (2008) 『小学校新学習指導要領の展開 (外国語活動編)』明治図書.
- 菅正隆 (2008) 「『英語ノート』を使った「外国語活動」の授業」『英語教育』第 57 巻第 6 号: 10-13.
- 菅正隆・『英語ノート』実践研究会 (2009) 『平成20年度版 小学校学習指導要領 ポイントと学習活動の展開 外国語活動』東洋館出版社.
- 小池生夫 (2008) 『第二言語習得研究を基盤とする小, 中, 高, 大の連携をはかる 英語教育の先導的基礎研究 平成 16 年度 ~ 平成 19 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (A)) 報告書』.
- McArthur, T. (1981) *Longman Lexicon of Contemporary English*. Essex: Longman.
- Moe, A., C. Hopkins and T. Rush (1982) *Vocabulary of First-Grade Children*. Springfield: Charles C Thomas Publisher.
- 文部科学省 (2008) 『英語ノート 指導資料 第 5 学年 試作版』
- 文部科学省 (2008) 『英語ノート 指導資料 第 6 学年 試作版』
- 毛利公也 (2004) 『英語の語彙指導あの手この手』溪水社.
- 西垣知佳子・中條清美・西岡菜穂子 (2007) 「小学校英語テキスト出現語彙の意味領域による分析」『日本児童英語教育学会研究紀要』第26号: 15-25.
- 大城賢・直山木綿子 (2008) 『小学校学習指導要領の解説と展開 外国語活動編 - Q&Aと授業改善のポイント・展開例』教育出版.
- 齊藤俊雄・中村純作・赤野一郎 (1998) 『英語コーパス言語学 - 基礎と実践』研究社出版.
- Stemach, J. and W. B. Williams (1988) *Word Express: The First 2500 Words of Spoken English*. Novato, CA: Academic Therapy Publications.
- 吉田研作 (2008) 『21 年度から取り組む小学校英語』教育開発研究所.